

6. キャリア開発（就職支援）関係

(1) 取組目標

本学のキャリア教育については、1年次「キャリア入門」、2年次「キャリアと人生」、3年次「就職セミナー」など、低年次から継続的にキャリア科目を配置するとともに、課外講座として「就職力強化セミナー」を開講し、学生の進路に向けた意識の高揚を図り、就職に関する知識や技能のスキルアップを目標としている。

(2) 学生の就職支援のための各種事業の展開

① コロナ禍における企業訪問活動の実施

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、教職員による企業訪問が困難であったことから、Zoomや電話を活用した面談を135件実施し、大学のPR、就職情報の収集に努めた。企業訪問は、採用情報を収集するだけでなく、大学と企業の良好な関係を保持するための重要な活動と言える。

② キャリア開発センターの利用状況について

学生の利用者数推移（延べ数）

令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
4,173名	3,189名	3,496名	2,265名	3,914名

進路相談、履歴書やエントリーシート等の添削指導、模擬面接等を随時行っている。前年度比+984名。オンライン率25.5%。

※ キャリア開発センターでは、学生に寄り添ったきめ細かな就職支援活動を行っているため、学生1人あたりの相談時間が延び、職員の就職支援に費やす時間が増加している

③ 学生個々の希望に応じた求人情報の展開

求人票受理件数

県内企業	東北地方企業	全国企業	計
326件	383件	512件	1,221件

受理した求人票は、学内に掲示するとともに急ぎの案件についてはメールなどで学生に周知を図った。県内求人が36件増加したが全国求人、東北求人が減少したため、前年度比15件減少した。

④ 学内における合同企業説明会や個別企業説明会の開催

イ 新型コロナウイルス禍における合同企業説明会の開催

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大で学内における合同企業説明会を中止したが、本年度は対面からZoomによるオンライン合同企業説明会に移行し開催した。出展企業111社、参加学生延べ1,021名。

ロ 個別企業説明会、選考会の開催

学内における個別企業の会社説明会や選考会を開催し、学生に就職情報の提供や便宜を図った。

・68回企画し29回開催

合計 学生44名参加

※ 新型コロナウイルス感染症拡大により開催数が43%減少した

⑤ 就職試験対策として「就職筆記試験講座（公務員講座）」等の開講

国家公務員一般職試験及び地方公務員上級試験をターゲットとし、さらには民間企業の一般教養試験にも有益なものとしてオンデマンド方式を導入し開講した。

- ・実施期間：令和2年4月15日～令和3年3月28日
- ・開講科目：教養科目、専門科目 計 26科目
- ・受講者数：公務員コース 41名 教養コース 28名 主要5科目コース4名 合計73名

⑥ 面接対策集中講座の開講

令和3年2月22日(月)、24日(水)、25日(木)の3日間、面接対策集中講座を開講した。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大でキャリア開発センター職員による自前講座として開催した。

⑦ 3年生保護者を対象とした保護者就職懇談会

3年生の保護者を対象とした保護者懇談会については、対面による懇談会には行わず、会議資料及び保護者として必要な就職活動の知識等を集約した小冊子を郵送し保護者懇談会とした。

⑧ 就職広報の展開

本学の就職支援対策について広報活動を展開した。

- ・キャリア開発センターニュースを原則月2回（8月、1月は月1回）計22回発行
- ・保護者向け就職支援情報の提供（年1回）
- ・求人票、企業個別説明会開催予定等の学内掲示やメール配信による周知

⑨ 就職手帳の作成、配付

学生の就職活動支援のため、就職手帳 250部を作成し、3年生及び大学院生に配付した。

⑩ 企業向けパンフレットの作成

学生の就職活動を支援するため、企業向大学案内パンフレットを2,000部作成し、県内外の企業約1,300社に送付するとともに企業懇談会等で配付した。

⑪ 学生の各種資格取得にかかる支援

資格試験を学内で代行実施するなど学生の資格取得を支援した。

また、大学保護者会の協力により資格試験の受験料について合格した場合の全額（上限10,000円）助成を行った。

⑫ 令和2年度卒業生の状況

項目	人数	備考
卒業者数	201名	
就職希望者	192名	就職率
うち就職決定者数	177名	92.2%
その他の進路の者	9名	進学3、就職準備6名